

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	English Communication I	英語名			
学科・コース	国際コミュニケーション学科	1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位	履修区分	必修
授業概要	This course is designed to enhance students' English communication and critical thinking skills by exploring contemporary and engaging themes such as relationships, technology, work, travel, and values.				
到達目標	Fluency in spoken English, with grammar and vocabulary integrated into real conversation practice				
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他 ()				
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。				
授業計画	1 Successful conversations 2 How do you feel? 3 Breaking the law 4 That's strange! 5 Expansion 1-4: Review and board game 6 School days 7 Success 8 Foreign languages 9 What is it, exactly? 10 Expansion 5-8: Review and board game 11 Staying healthy 12 Advertising 13 What's the story? 14 Final exam, Feedback				

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	English Communication II	英語名			
学科・コース	国際コミュニケーション学科	1 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位	履修区分	必修
授業概要	This course is designed to enhance students' English communication and critical thinking skills by exploring contemporary and engaging themes such as relationships, technology, work, travel, and values.				
到達目標	Fluency in spoken English, with grammar and vocabulary integrated into real conversation practice				
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他 ()				
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。				
授業計画	1 Friendship 2 Looking for love 3 Expansion 9-12: Review and board game 4 Please be careful! 5 Taking risks 6 Popularity 7 Success and happiness 8 Traveler or tourist? 9 Fantastic journeys 10 The ideal job 11 Getting a job 12 Expansion 13-16: Review and board game 13 Review 14 Final exam,feedback				

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	Basic English		英語名			
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	スマートフォンや世界の食文化、音楽、旅行、自然災害などの身近で実践的なテーマを通じて、語彙や文法を学びながら、「聴く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に養います					
到達目標	習得した英語表現と基礎文法を使って自分の意見や考えを英語で簡単に伝えることができる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション / Unit 1: Staying Connected 2 Unit 2: Eat Your Way around the World 3 Unit 3: The Magic of Music 4 Unit 4: It's Travel Time! 5 Unit 5: For the Love of Shopping 6 Unit 6: A Nod to Nature 7 Review 1 8 Unit 7: People's Many Faces 9 Unit 8: Fighting for Wildlife 10 Unit 9: Sweeping through the Supermarket 11 Unit 10: When Disaster Strikes 12 Unit 11: The Heart of Art 13 Unit 12: Essential Everyday Devices 14 Final Exam					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	比較文化論		英語名	Comparative Culture		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	日本の敬語、会社のウチ・ソトの文化などを理解し、自国やほかのアジアの国の文化と比較して考察します					
到達目標	日本語の接遇表現や状況に応じて正しい敬語を使い分けができる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 異文化の3つのステップ					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	表現研究 I		英語名	Rhetorical Techniques I		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 □	3 単位		履修区分	必修
授業概要	アカデミック・ジャパニーズの習得を目指し、社会・文化・科学などの多様な専門的テーマを通じて「読む・聞く・話す・書く」の4技能を総合的に育成します。発表、ディベート、ディスカッション、レポート作成といったアウトプット活動を反復し、実践的な表現力と論理的思考力を養います。					
到達目標	自らの考えを論理的に構築して、発表、ディベート、ディスカッション、レポート等の形式で適切に表現することができる					
成績評価方法	☑ 筆記テスト □ レポート ☑ 課題 □ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 Unit 1 ていねいに読む 3 Unit 1 すばやく読む 4 Unit 1 聞く・話す準備 5 Unit 1 話す活動 6 Unit 1 書く活動 7 Unit 2 ていねいに読む 8 Unit 2 すばやく読む 9 Unit 2 聞く・話す準備 10 Unit 2 話す活動 11 Unit 2 書く活動 12 Unit 3 ていねいに読む 13 Unit 3 すばやく読む 14 Unit 3 聞く・話す準備 15 Unit 3 話す活動 16 Unit 3 書く活動 17 Unit 4 ていねいに読む 18 Unit 4 すばやく読む 19 Unit 4 聞く・話す準備 20 Unit 4 話す活動 21 Unit 4 書く活動 22 中間総括と振り返り 23 Unit 5 ていねいに読む 24 Unit 5 すばやく読む 25 Unit 5 聞く・話す準備 26 Unit 5 話す活動 27 Unit 5 書く活動 28 Unit 6 ていねいに読む 29 Unit 6 すばやく読む 30 Unit 6 聞く・話す準備 31 Unit 6 話す活動 32 Unit 6 書く活動 33 Unit 7 ていねいに読む 34 Unit 7 すばやく読む 35 Unit 7 聞く・話す準備 36 Unit 7 話す活動 37 Unit 7 書く活動 38 Unit 8 ていねいに読む 39 Unit 8 すばやく読む 40 Unit 8 聞く・話す準備 41 Unit 8 話す活動 42 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	表現研究Ⅱ		英語名	Rhetorical TechniquesⅡ																														
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期																												
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修																												
授業概要	漢字の特殊な読み方や、多様な意味を持つ語、類義語・同形語の使い分けなどを精読と演習を通じて深く学びます。文章の文脈を正確に捉え、自らの考えを論理的かつ適切に表現するための実践的な日本語運用能力を総合的に養います。																																	
到達目標	日本語能力試験N1レベルの語彙や表現の規則性を深く理解し、文脈に応じた適切な言葉の選択と使用ができるようになる																																	
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）																																	
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。																																	
授業計画	<table><tr><td>1 オリエンテーション</td><td>15 一字で言葉になる言葉</td></tr><tr><td>2 伸ばす音・伸ばさない音の表現研究</td><td>16 接頭辞・接尾辞</td></tr><tr><td>3 詰まる音（促音）の表現研究</td><td>17 特別な読み方の言葉</td></tr><tr><td>4 清音・濁音・半濁音の表現研究</td><td>18 「たとえ」の表現</td></tr><tr><td>5 漢字の訓読みに注意したい言葉</td><td>19 語彙力アップチェック</td></tr><tr><td>6 いろいろな読み方をする漢字</td><td>20 実戦練習1</td></tr><tr><td>7 読み方が同じ言葉の表現</td><td>21 実戦練習2</td></tr><tr><td>8 前半（基礎編）の総括と振り返り</td><td>22 実戦練習3</td></tr><tr><td>9 漢字の訓読みに注意したい言葉</td><td>23 実戦練習4</td></tr><tr><td>10 いろいろな意味を持つ言葉①</td><td>24 応用練習</td></tr><tr><td>11 いろいろな意味を持つ言葉②</td><td>25 模擬試験</td></tr><tr><td>12 形が似ている言葉</td><td>26 模擬試験</td></tr><tr><td>13 意味が似ている言葉</td><td>27 自己分析</td></tr><tr><td>14 中間総括と確認テスト</td><td>28 単位認定試験・総括</td></tr></table>						1 オリエンテーション	15 一字で言葉になる言葉	2 伸ばす音・伸ばさない音の表現研究	16 接頭辞・接尾辞	3 詰まる音（促音）の表現研究	17 特別な読み方の言葉	4 清音・濁音・半濁音の表現研究	18 「たとえ」の表現	5 漢字の訓読みに注意したい言葉	19 語彙力アップチェック	6 いろいろな読み方をする漢字	20 実戦練習1	7 読み方が同じ言葉の表現	21 実戦練習2	8 前半（基礎編）の総括と振り返り	22 実戦練習3	9 漢字の訓読みに注意したい言葉	23 実戦練習4	10 いろいろな意味を持つ言葉①	24 応用練習	11 いろいろな意味を持つ言葉②	25 模擬試験	12 形が似ている言葉	26 模擬試験	13 意味が似ている言葉	27 自己分析	14 中間総括と確認テスト	28 単位認定試験・総括
1 オリエンテーション	15 一字で言葉になる言葉																																	
2 伸ばす音・伸ばさない音の表現研究	16 接頭辞・接尾辞																																	
3 詰まる音（促音）の表現研究	17 特別な読み方の言葉																																	
4 清音・濁音・半濁音の表現研究	18 「たとえ」の表現																																	
5 漢字の訓読みに注意したい言葉	19 語彙力アップチェック																																	
6 いろいろな読み方をする漢字	20 実戦練習1																																	
7 読み方が同じ言葉の表現	21 実戦練習2																																	
8 前半（基礎編）の総括と振り返り	22 実戦練習3																																	
9 漢字の訓読みに注意したい言葉	23 実戦練習4																																	
10 いろいろな意味を持つ言葉①	24 応用練習																																	
11 いろいろな意味を持つ言葉②	25 模擬試験																																	
12 形が似ている言葉	26 模擬試験																																	
13 意味が似ている言葉	27 自己分析																																	
14 中間総括と確認テスト	28 単位認定試験・総括																																	

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	プレゼンテーション		英語名			
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	ビジネスプレゼンテーション場面において、自分の考えをまとめ、相手に正確に伝えて、相手が正しく理解できるようなプレゼンテーション力を身に着けます。資料や視覚材料を活用し、効果的に自分の意見を伝える方法について学びます。					
到達目標	自分の考えをまとめて相手が正しく理解できるように正確に伝えるプレゼンテーションができるようになる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☒ その他（ 発表活動 ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	異文化コミュニケーション		英語名	Intercultural Communication		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修
授業概要	日本の日常生活、アルバイト、就職活動、そして職場で実際に起こり得るトラブルをケーススタディ疑似体験します。同時に討論を行うことで自分の考えを論理的かつ適切に伝える力を養い、就職後に職場で円滑な人間関係を築くための「問題発見解決能力」を身に付けます。					
到達目標	日本の日常生活や職場で実際に起こり得るトラブルを知り、問題解決を図ることができるようになる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 明文化されていないルール 3 日本の謝罪文化と自己防衛 4 生活習慣の違いによる摩擦 5 「居留守」という行動 6 プライバシーに対する感覚の違い 7 人間関係の構築プロセス 8 ふりかえり 9 日本語能力の壁による自己表現のギャップ 10 「本音と建前」、忠告の受け取り方 11 日本の接客文化 12 暗黙の指示の読み取り 13 曖昧な指示による労働 14 ふりかえり 15 業務外の食事の誘いへの対応 16 職場の不正行為 17 共同作業に対するアプローチの違い 18 非協力的なメンバーへの働きかけ方 19 目上の人に対する適切な連絡手段 20 組織内の性別役割分業の意識 21 ふりかえり 22 リーダーとしての役割 23 実力主義と年齢・上下関係の摩擦 24 年上の後輩との関係構築 25 将来のキャリア設計 26 就職活動のストレス 27 キャリア観の相違 28 業務外の社内行事への参加 29 ネットリテラシー 30 ケーススタディ① 31 ケーススタディ② 32 ケーススタディ③ 33 ケーススタディ④ 34 ケーススタディ⑤ 35 ケーススタディ⑥ 36 ケーススタディ⑦ 37 ケーススタディ⑧ 38 ふりかえり 39 自身の異文化摩擦体験のグループワーク 40 自身の異文化摩擦体験のグループワーク 41 自身の異文化摩擦体験のグループワーク 42 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	論作文 I		英語名	Essay writing I		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	論作文において必要となる論理的思考力を養います。身近なテーマをもとに理由の述べ方などのスキルを身につけます。					
到達目標	EJUの記述で35点以上がとれるようになる。大学院出願のための志望理由を完成させる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 表記の仕方 2 文体 3 段落 4 テーマを述べる 5 理由・経過をのべる 6 定義する 7 問題点を述べる 8 EJU記述対策/大学院志望理由書対策① 9 EJU記述対策/大学院志望理由書対策② 10 EJU記述対策/大学院志望理由書対策③ 11 EJU記述対策/大学院志望理由書対策④ 12 EJU記述対策/大学院志望理由書対策⑤ 13 EJU記述対策/大学院志望理由書対策⑥ 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	論作文Ⅱ		英語名	Essay writing Ⅱ		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	研究計画書、大学入試問題でよく使われる文の形、語と表現、引用、句読点、標記規則、論文の構成について学習します。					
到達目標	アカデミックジャパニーズの表現を使い小論文や研究計画書が書けるようになる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 テーマを述べる					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	現代社会		英語名	Social Studies		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	2 単位		履修区分	必修
授業概要	政治・経済・社会を中心として地理、歴史の各分野で多文化理解の視野からみた現代の世界と日本について考える。					
到達目標	EJUの総合科目の問題が解けるレベルの知識を身につける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 【政治・経済】現代の社会 2 【政治・経済】現代の社会 3 【政治・経済】現代の経済 4 【政治・経済】現代の国際社会 5 【政治・経済】現代の国際社会 6 【政治・経済】現代の国際社会 7 【地理】地球儀と地図，距離と方位 8 【地理】地球儀と地図，距離と方位 9 ふりかえり 10 産業革命 11 アメリカ独立革命 12 フランス革命 13 国民国家の形成 14 帝国主義と植民地化 15 日本の近代化とアジア 16 第一次世界大戦 17 ロシア革命，世界恐慌 18 第二次世界大戦と冷戦 19 アジア・アフリカ諸国の独立 20 世界の諸地域（アジア） 21 世界の諸地域（アフリカ） 22 日本の戦後史 23 石油危機，冷戦体制の崩壊 24 世界の諸地域（ヨーロッパ） 25 世界の諸地域（西北東ヨーロッパ、ロシア） 26 世界の諸地域（アメリカ） 27 世界の諸地域（オセアニア） 28 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	課題制作		英語名	Academic Project Work		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	2 単位	履修区分	必修
授業概要	学生自身が関心のあるテーマ（進学先での研究予定分野など）を設定し、文献調査や分析を経て、最終的に「ミニレポート（あるいは研究計画書の基礎）」の執筆と「プレゼンテーション（口頭発表）」を行います。					
到達目標	自ら適切なテーマを設定し、レポートや論文にふさわしい文体で記述できる。視覚的に分かりやすいスライドを作成し、説得力のあるプレゼンテーションと質疑応答ができる。					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☒ その他（発表活動）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーションとマインドセット 2 テーマの探し方と「問い」の立て方 3 アカデミック・ジャパニーズ基礎① 4 情報の集め方（文献・データの検索） 5 テーマのブレインストーミング 6 テーマ・問いの確定 7 レポート・論文の基本構造を学ぶ 8 アカデミック・ジャパニーズ基礎② 9 引用のルールと著作権 10 構成案（アウトライン）の作成 11 学生同士の検討会 12 構成案の修正と個別フィードバック 13 中間進捗報告 14 執筆ワークショップ①：「序論」 15 執筆ワークショップ②：「本論」 16 執筆ワークショップ③：「本論」 17 執筆ワークショップ④：「結論」 18 ファーストドラフト（初稿）の提出 19 ピア・リーディング 20 最終推敲とレポートの提出 21 プレゼンテーションの構成 22 アカデミック・ジャパニーズ基礎③ 23 スライド作成ワークショップ 24 ミニ予行練習 25 質疑応答のトレーニング 26 全体リハーサルと最終調整 27 最終発表会 28 最終発表会& 振り返り					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	文書作成（word）		英語名	Typing skills (Word)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	通年
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	マイクロソフト社の文書作成ソフトであるワードの操作方法を学びかんたんなお知らせ、ビジネス文書作成ができる力を身につけます。					
到達目標	マイクロソフト社のWordの基本操作から多様な機能を用いた編集までをできるようになる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Wordの基本操作、文字入力と修正 2 入力練習（ひらがな・カタカナ） 3 入力練習（英数字・記号・漢字） 4 タイピング練習（短文・長文） 5 文字修正の練習 6 ファイルの保存と呼び出し 7 ビジネス文書の作成 8 段落の編集機能 9 フォントの編集機能 10 表の作成と編集① 11 画像の挿入 12 ワードアート・図形描写 13 段組み 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	情報処理（表計算）		英語名	Data processing(Excel)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	マイクロソフト社の表計算ソフトであるエクセルの操作方法を学び、表作成、グラフ作成、データベース機能ができる力を身につけます。					
到達目標	マイクロソフト社のExcelの基本操作を学び、表やグラフの作成、データベース機能を活用できる力を身につける。					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 データの入力と修正 2 計算式の入力、オートフィル機能 3 SUM・AVERAGE関数 4 セルの書式設定 5 相対参照と絶対参照 6 MAX・MIN・COUNT関数 7 ROUND・ROUNDUP関数 8 ROUNDUP・ROUNDDOWN関数 9 IF・AND・OR関数、関数のネスト 10 表示形式の設定、罫線の設定 11 RANK・LARGE・SMALL関数 12 RANK・LARGE・SMALL関数 13 VLOOKUP関数 14 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	検定対策Ⅰ		英語名	Test PrepⅠ (JLPT①)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験合格を目指し、実践問題を解きながら、自分の弱点を理解し、強化するべく取り組みます。					
到達目標	実践問題を解きながらJLPT N1の試験に挑戦できる力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 文字・語彙対策 2 文字・語彙対策 3 文字・語彙対策 4 文法対策 5 文法対策 6 文法対策 7 文法対策 8 聴解対策 9 聴解対策 10 聴解対策 11 聴解対策 12 読解対策 13 読解対策 14 読解対策 15 読解対策 16 模擬試験・解説 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	検定対策Ⅰ		英語名	Test PrepⅠ (JLPT②)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	3 単位	履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験合格を目指し、実践問題を解きながら、自分の弱点を理解し、強化するべく取り組みます。					
到達目標	実践問題を解きながらJLPT N1の試験に挑戦できる力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 文字・語彙・聴解演習 2 文字・語彙・聴解演習 3 文字・語彙・聴解演習 4 読解・聴解演習 5 読解・聴解演習 6 読解・聴解演習 7 文字語彙模擬試験・解説 8 聴解模擬試験・解説 9 読解模擬試験・解説 10 文字語彙模擬試験・解説 11 聴解模擬試験・解説 12 読解模擬試験・解説 13 文字語彙模擬試験・解説 14 聴解模擬試験・解説 15 読解模擬試験・解説 16 模擬試験・解説 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	検定対策 I		英語名	Test Prep I (EJU)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	3 単位	履修区分	必修選択
授業概要	EJUの日本語科目の読解・聴読解・聴解の問題形式に慣れ、高得点を目指します					
到達目標	実践問題を解きながらEJUの問題形式を理解する					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 聴解・聴読解対策 2 聴解・聴読解対策 3 聴解・聴読解対策 4 聴解・聴読解対策 5 聴解・聴読解対策 6 聴解・聴読解対策 7 聴解・聴読解対策 8 聴解・聴読解対策 9 読解対策 10 読解対策 11 読解対策 12 読解対策 13 読解対策 14 読解対策 15 読解対策 16 読解対策 17 模擬試験・解説 18 模擬試験・解説 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

※2科目履修で3単位認定

科目名	検定対策 I		英語名	Test Prep I (TOEIC)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	TOEIC受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標にします。各Part のTOEICの問題形式に慣れながら、500～600点のスコアを目指します。					
到達目標	TOEICの問題形式に慣れ、受験に必要な基礎的な英語力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Unit1 Restaurant Part1-Part5 2 Unit1 Restaurant Part6-7 3 Unit2 Department Store Part1-Part5 4 Unit2 Department Store Part6-7 5 Unit3 Train Station Part1-Part5 6 Unit3 Train Station Part6-7 7 Unit4 Transportation Part1-Part5 8 Unit4 Transportation Part6-7 9 Unit5 Post Office Part1-Part5 10 Unit5 Post Office Part6-7 11 Unit6 Bank Part1-Part5 12 Unit6 Bank Part6-7 13 Unit7 Airport Part1-Part5 14 Unit7 Airport Part6-7 15 Unit8 Hotel Part1-Part5 16 Unit8 Hotel Part6-7 17 Unit9 Hospiratl Part1-Part5 18 Unit9 Hospital Part6-7 19 模擬試験・解説 20 模擬試験・解説 21 単位認定試験					

※2科目履修で3単位認定

科目名	検定対策 I		英語名	Test Prep I (TOEFL)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	3 単位		履修区分	必修選択
授業概要	The course includes full-length practice tests, skill-building exercises, and test-taking strategies. Online resources such as audio recordings, video lessons, and practice exams support in-class learning.					
到達目標	Students will improve their academic English skills across all four test sections: Reading, Listening, Speaking, and Writing.					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Setup for the rest of the semester 2 Practice TOEFL Test 3 Make personalized study plan 4 Targetting their weak areas 5 Chapter 1 6 Chapter 1 7 Chapter 1 8 Chapter 2 9 Chapter 2 10 Chapter 2 11 Chapter 3 12 Chapter 3 13 Chapter 3 14 Chapter 4 15 Chapter 4 16 Chapter 4 17 Chapter 5 18 Chapter 5 19 Chapter 5 20 Review 21 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	検定対策Ⅱ		英語名	Test PrepⅡ (JLPT)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	1 単位	履修区分	必修選択
授業概要	日本語能力試験合格を目指し、実践問題を解きながら、自分の弱点を理解し、強化するべく取り組みます。					
到達目標	実践問題を解きながらJLPT N1の試験に挑戦できる力をつける					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 実戦問題・解説 2 実戦問題・解説 3 実戦問題・解説 4 実戦問題・解説 5 実戦問題・解説 6 実戦問題・解説 7 実戦問題・解説 8 実戦問題・解説 9 実戦問題・解説 10 実戦問題・解説 11 実戦問題・解説 12 実戦問題・解説 13 実戦問題・解説 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	検定対策Ⅱ		英語名	Test Prep Ⅱ (EJU)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業	☐	1 単位	履修区分	必修選択
授業概要	EJUの日本語科目の読解・聴読解・聴解の問題形式に慣れ、高得点を目指します					
到達目標	時間配分に気を付けながらEJUの問題を効率的に解くことができる					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 実戦問題・解説 2 実戦問題・解説 3 実戦問題・解説 4 実戦問題・解説 5 実戦問題・解説 6 実戦問題・解説 7 実戦問題・解説 8 実戦問題・解説 9 実戦問題・解説 10 実戦問題・解説 11 実戦問題・解説 12 実戦問題・解説 13 実戦問題・解説 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	検定対策Ⅱ		英語名	Test PrepⅡ (TOEIC)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修選択
授業概要	TOEICの出題形式に沿った問題演習を行いながらスコアアップを目標にします。					
到達目標	時間配分に気を付けながら、TOEICのスコアアップを目指す					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 模擬試験・解説 2 模擬試験・解説 3 模擬試験・解説 4 模擬試験・解説 5 模擬試験・解説 6 模擬試験・解説 7 模擬試験・解説 8 模擬試験・解説 9 模擬試験・解説 10 模擬試験・解説 11 模擬試験・解説 12 模擬試験・解説 13 模擬試験・解説 14 単位認定試験					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	検定対策Ⅱ		英語名	Test Prep Ⅱ (TOEFL)		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修選択
授業概要	The course includes full-length practice tests, skill-building exercises, and test-taking strategies. Online resources such as audio recordings, video lessons, and practice exams support in-class learning.					
到達目標	Students will improve their academic English skills across all four test sections: Reading, Listening, Speaking, and Writing.					
成績評価方法	☒ 筆記テスト ☐ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 Mock Test and review 2 Mock Test and review 3 Mock Test and review 4 Mock Test and review 5 Mock Test and review 6 Mock Test and review 7 Mock Test and review 8 Mock Test and review 9 Mock Test and review 10 Mock Test and review 11 Mock Test and review 12 Mock Test and review 13 Mock Test and review 14 Final exam					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザイン I		英語名	Career Development I		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	前期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	日本の進学制度、必要な試験（EJU、JLPT、英語試験など）、募集要項の読み解き方などの基礎知識を体系的に学びます。また、単に進学するだけでなく、「なぜ日本で学ぶのか」「将来どうなりたいのか」を言語化するための自己分析を行います					
到達目標	日本の高等教育制度の種類や違いを理解し、自身の進路の選択肢を説明できる。自己分析を通じて、日本での進学動機と将来の目標を簡潔に文章や言葉で表現できる。					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 オリエンテーション 2 日本の高等教育制度の仕組み 3 進学スケジュールリングと年間計画 4 留学生入試に必要な試験① 5 留学生入試に必要な試験② 6 情報収集の方法①募集要項の読み解き方 7 情報収集の方法②：学校比較とイベント活用 8 自己分析①：これまでのキャリア 9 自己分析②：なぜ日本で進学したいのか？ 10 未来の設計：将来の夢と進学のつながり 11 志望理由書の基礎① 12 志望理由書の基礎② 13 面接対策の基礎① 14 面接対策の基礎②&前期ふりかえり					

2026年度 東京ビジネス&キャリア専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザイン II		英語名	Career Development II		
学科・コース	国際コミュニケーション学科		1 年次		学期	後期
授業形態	講義	実務経験のある教員等による授業 ☐	1 単位		履修区分	必修
授業概要	日本の大学・大学院への進学に向けて必要な知識・スキルを身につける授業です。進学目的の明確化、志望校研究、出願書類作成、面接対策を中心に学び、自分自身の将来設計を具体化します。					
到達目標	志望する大学・大学院の情報を収集し、自分に適した進学先を選択できる。進学面接に必要な受け答えができるようになる。					
成績評価方法	☐ 筆記テスト ☒ レポート ☒ 課題 ☐ その他（ ）					
成績評価基準	100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に採点し、90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。					
授業計画	1 前期の振り返り 2 自己分析① 3 自己分析② 4 日本の大学・大学院制度 5 志望校研究① 6 志望校研究② 7 志望理由書作成① 8 志望理由書作成② 9 自己PR作成 10 面接対策① 11 面接対策② 12 進学後の学習計画 13 個人面談・進路指導 14 個人面談＆ふりかえり					